

2024

年次報告書

Annual Report

ビジョン・ミッションを実現するための
4つのアプローチから2024年度を振り返ります

Vision

Mission



認定特定非営利活動法人
長野県NPOセンター

Vision ビジョン

みんなで100年先も暮らしたい
長野県にしよう！

Mission ミッション

信頼される社会の変革者として、
人と地域の参加・協働を創り出す

代表あいさつ

平素より長野県NPOセンターへのご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。長野県NPOセンターは2024年11月、かねてよりの悲願であった認定を取得し、認定NPO法人として新たな第一歩を踏み出しました。

認定NPO法人にはより高い公益性と組織運営の透明性が期待されています。これらの期待にしっかりお応えし、ミッションとして掲げる「信頼される社会の変革者」となるべくより一層務めていく所存です。今回の認定取得によりいただいたご寄付は、税制上の優遇措置の対象となりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



長野県NPOセンター
代表理事 亀垣 嘉明

ビジョン・ミッション達成のための

4つのアプローチ

1

持続可能な
地域づくりのための
パートナーシップ促進

2

地域・社会への
つながり・参画促進と
孤立防止

3

社会変革のパートナー
となり得る組織への
コンサルティング

4

持続可能な
地域づくりに向けた
住民自治の実践支援

各リーダーあいさつ

古越 武彦（理事・事務局次長・災害支援事業担当）



本格的に災害支援事業を始めて早2年。「長野県災害時支援ネットワーク」の基盤強化を図り、被災者の人権を尊重した「イタリア式避難所訓練の実施」など、民間から社会変革を促すための取組をこれからも進めます！

栗津 知佳子（佐久市市民活動サポートセンター長）



受託6年目となる佐久市市民活動サポートセンター。教育機関や企業との連携を進める「佐久平地域まろごとキャンパス」との相乗効果で、民間と行政が一緒にまちづくりに取り組む「協働」の輪が広がっています。

石坂 みどり（就労支援マネージャー）



就労準備支援事業は毎年プロポーザルのプレッシャーと戦いながら、昨年で10年！ 昨年はスタッフが総入れ替えとなり、リニューアルスタートしました。支援の中で大切にしたいことの共通理解とし、より良い支援に努めます。

戸井田 由奈（市民協働サポート・ながの若者スクエアふらっとb センター長）



ふらっとb併設から1年。世代を超えた交流や協働、若者の力に希望を感じます。10年先が楽しみになる社会を目指し、私たちにできることを模索しながら、明るく楽しく元よく前向きに事業を進めていきます！

阿部 今日子（理事・事務局長）



法人として良い意味での転換期を迎えていると感じた1年。認定NPO法人として多くの方の応援をいただく責任も感じています。また、理事・スタッフ・会員・寄付者の皆さんと共に歩む姿勢を大切にしなければならないことを痛感した年でもありました。自ら道を切り拓く姿勢を各事業スタッフから見ることができ、感謝するとともに、学ぶことも多い年でした。今後も、人材の確保・育成を通じて法人を強くしなやかに、そして、健やかにしたいと思います。



持続可能な地域づくりのための パートナーシップ促進



協働が生まれやすい環境づくりを通して、行政・教育機関・企業・地域など、さまざまな主体同士の連携を促し、課題解決を目指しています。

災害支援事業

避難所では、床にごろ寝、汚いトイレ、菓子パン・おにぎりの食事が続き、さらに指定避難所以外に避難している被災者には支援の手が届きにくく、結果として多くの災害関連死が発生している今の日本。関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大震災など、これまで未曾有の大災害を経験しているにも関わらず、被災者が置かれている状況は100年経っても変わっていません。何もしなければ、きっとこれからも変わらないでしょう。だからこそ、長年培ってきた「中間支援」としての強みを活かし、少しでも現状を変え、安全で安心できる未来を次の世代に残すためにさまざまな事業を行っています。

被災者の人権を尊重した「新たな被災者支援」の検討や実働訓練、行政や社会福祉協議会、NPO・企業・大学などの多様な民間支援を結集するための「被災者支援スタンダード(被災者支援のための共通目標)」などの仕組みづくり、地域の人材育成やネットワーク化に取り組んでいます。



3/21(金)訓練(諏訪市)では、避難者役・支援者役計250人が参加しました

2024年度の主な取組・実績

- ・人材育成研修(2/15 伊那市 約70人参加)
- ・支援者調整用アプリ「支援状況共有システム」の検討・開発
- ・分野別被災者支援の検討(3分野)

- 1 キッチンカーによる「食と栄養」の支援
勉強会(対面3回 計60人)、実働訓練(2/6 長野市 約50人参加)
- 2 ジェンダーの視点による被災者支援
避難所の設置・運営研修(10/19 長野市 106人参加)
- 3 子ども支援
勉強会(オンライン5回 273人参加)

- ・民間主導による

「イタリア式避難所システム導入に向けた実働訓練」

2025年3月20日(木)～21日(金) 伊那市・諏訪市
支援拠点設置訓練、本部運営訓練、食支援訓練、子ども支援訓練、DWAT(災害派遣福祉チーム)訓練、災害VC設置訓練 など

実績

- ✓ 飯綱東区自治会への支援(防災訓練、避難所体験、防災セミナー実施)
- ✓ 長野県能登半島地震復興支援県民本部会議への参加
- ✓ 「長野市緊急時の子ども支援ガイドライン」策定等への参画

NPO広報発信事業(ナガクル)

市民の社会活動への関心を高め参加を促すことなどを目的に、ナガノの課題とNPOをつなぐポータルサイト「ナガクル」に記事を、長野市民新聞の「市民とNPOのひろば」にイベント情報などを掲載しています。

ナガクルは2024年度、ソーシャルライターによる取材記事など計40本を掲載し、新着記事などをまとめて毎月メールマガジンで配信しています。アクセス数は順調に伸び、19年度からの累計アクセスは18万件(内2024年度は41,000件)を超えました。

7月3・4日開催の赤い羽根全国ミーティングにて、ソーシャルライターが全体会と全分科会を取材、即時ホームページにアップし、話題となりました。



大活躍したソーシャルライターの面々



NAGANO + CYCLE



<https://nagacle.net/>

SDGsの推進

市民活動・地域づくりの現場で活動する人たちは、常に社会課題の当事者の近くで活動しています。SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」という理念は、わたしたちが目指す「100年先も暮らしたい長野」を「参加と協働」で創り出すためにも重要なキーワードです。世界にも通じる共通言語としてのSDGs。その推進を通じて、社会に貢献するとともに、県内にとどまることなくネットワークを広げています。



11/1(金) 安曇野でのワークショップ



佐久市市民活動サポートセンター

年間のセンター利用者総数 **12,696**人



さくさぼは、「支える」「つなぐ」「広める」3つの役割を通して、市民活動団体やNPO、地域のために活動する市民のみなさんを応援しています。「支える」では市民活動に役立つ講座の企画運営、「つなぐ」では交流会の開催、「広める」では色々な主体と一緒に取り組む協働の事例や市民活動の情報発信をしています。佐久地域の多様な活動や主体をつなぐ場として、市民活動団体をはじめ教育機関や企業等、多くの方々にご利用いただいています。行政との対等なパートナーシップに基づき公設民営で協働を推進するセンターの先進事例として、他自治体からの視察受入れも行っています。

支える

地域の課題解決や
市民活動の支援



- ・市民活動、協働に関する相談対応件数 …… **316**件
- ・市民活動に関する講座 …… **5**回
- ・講座参加者数 合計 …… **93**人

つなぐ

市民や団体、行政など、
様々な機関同士のコーディネート



- ・交流会開催 …… **6**回
- ・交流会参加者数 合計 …… **229**人
- ・相談対応のうちコーディネート件数 …… **64**件

広める

市民活動や協働についての
情報収集・発信



- ・機関紙「さくさぼ」の発行・市内全戸配布 …… 年 **3**回
- ・ホームページアクセス数 …… **56,619**件
- ・Facebookリーチ数 …… **26,371**件
- ・Instagramリーチ数 …… **9,997**件

市民協働サポートセンター（長野市）



年間のセンター利用者総数 **6,401**人

今年もさまざまなテーマで交流会を実施し、多様な人や団体とつながることができました。

「自治会」をテーマにした交流会は、約80人の参加者が課題や想いを語り合う熱量の高い場となり、今後も自由な議論の

場を継続する必要性を感じています。

また、市民活動団体向け講座では、団体が活動の本質を見直す機会を提供しました。



出会う・つながる

団体のネットワークの強化・拡大



- ・NPOカフェまんまる、地域まんまる（交流会）計 6回 …… **223**人参加
- ・ボランティアサロン計 19回 …… **173**人参加

伝える

情報の受発信



- ・機関誌発行：年 **4**回 各 **1,500**部＋メルマガ配信
- ・ホームページアクセス件数 …… **74,008**件

相談する

市民活動団体等の運営等に関する
相談とコーディネート



- ・相談対応件数 …… **268**件
- ・問い合わせ・対応件数 …… **5,322**件

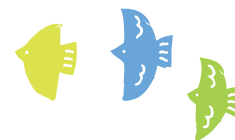
知る・学ぶ

団体・個人育成各種講座実施



- ・講座実施 6回 …… **60**人参加
- ・新設「あなたの想いを事業（カタチ）にしてみよう」計 6回 …… **24**人参加

地域・社会へのつながり・ 参画促進と孤立防止



個人が地域・社会に参画するきっかけを創り出すことで、主体的に動く人を増やすとともに、孤立しがちな人たちと地域・社会との接点を増やしています。

■ ながの若者チャレンジ応援事業

長野市から受託した「ながの若者チャレンジ応援事業」は、若者に地域をより知ってもらい、主体性と自己肯定感を育むことで、地域への愛着の醸成や将来的な地元定着・回帰につなげます。また、若者がまちづくりにチャレンジしやすい環境を整え、支援することで、チャレンジできるまち「NAGANO」を体現し、生まれたアイデアからまちの賑わいの創出を図ることを目的とする事業です。

ながの若者スクエア「ふらっと」

若者の「やりたい」をカタチにできる拠点として
2023年10月にオープン。2024年度の利用者数は
新規が495人、リピートは1,146人、累計数は1,641
人でした。イベントは76企画を開催し、内37企画は
学生をはじめとする若者の企画でした。若者の企画が増えたことにより、他の
若者が新たな企画を考えたり、参加者同士のつながりが生まれたりしました。

ながの若者スクエア

ふらっと



若者と市長のトークセッション

今年度からは活動支援金
事業が始まり、5団体の新規
事業やイベント開催を支援し
ました。5団体の活動報告会には市長も参加し、会場にいた若者も含めて活発な意見交換
が行われました。「企画書を書くのは大変だったけどいい経験になった」と次への更なる
ステップを考える学生もいます。



学生企画の持ち寄りごはん会 みんなで「いただきます！」



ながの地域まるとキャンパス

「あしもの地域＝ながの」をまると「キャンパス」ととらえて、地域活動のプログラムを提供し、学生
の学び・体験・参加を支えるプロジェクトです。学生が地域に飛び出し、地域住民や企業などの大人や
仲間と出会い、地域課題の解決に向けて一緒に活動します。参加学生からは「いろいろな人と話せた
ことで自分の視野が広がった」「活動した地域の話を書き、里山の現状を知る機会になってよかった」
など、アンケートに回答した全員から「参加して満足だった」と回答がありました。12月に開催した活動
報告会では、参加学生以外の学生や一般も含め、66人が参加し、交流を深めました。

ながの
地域
まると
キャンパス

2024年度の活動プログラム数 **35**、参加人数のべ **148** 人（実数136人）



蠟の市を盛り上げました！



ワークショップで協働を体験した報告会



まるとキャン報告書

■ 佐久平地域まるごとキャンパス

～体験は経験に、経験は力に～



佐久平地域まるごとキャンパスは、佐久市域全体を「キャンパス」とし、高校生や大学生など若者が地域活動に参加するプログラムです。2024年度は4年目となり、初めて実行委員会主催として、22社の協賛金と佐久市の負担金により実施しました。若者が地域課題を学び、実践的な活動を通じて地域とのつながりを深めました。アンケートでは参加者の7割以上が地域への愛着や定住意欲の向上を実感し、9割が今後の地域活動への参加に前向きでした。

報告会&交流会「まるキャンフェス」には計74人が参加し、企画運営から若者主体で準備を行い、当日は官民協働の場となりました。地域と若者が相互に影響し合う好循環が見られ、今後のUIターンや地域人材育成への貢献が期待されます。

2024年度の活動プログラム数 **19**、参加人数のべ **149** 人（実数141人）



佐久平地域まるごとキャンパス

課題：学生との接点がない！

できること

- ・プログラムの提供
- ・協賛金による応援

企業

課題：シビックプライドの醸成

できること

- ・運営費支援
- ・広報協力など

市

地域の課題

若者人口の流出

共通のゴール

戻りたくなる、住みたくなる
佐久地域に！



課題：高齢化・担い手不足

できること

- ・プログラムの提供

地域

課題：学生の活動フィールド
を広げたい！

できること

- ・学生への周知
- ・プログラムへの参加支援等

学校

■ 信州パーソナル・サポート事業（就労準備支援事業）

さまざまな理由で直ちに就労が難しい方に対し、本人の困難さやベースに寄り添いながら、就労に向けた準備や社会参加に向けた支援をしています。カウンセリングや体験機会の提供、多機関との連携・協働による、生活習慣や健康管理の整え、自己理解の促進・ソーシャルスキルやコミュニケーション力の獲得など、働く準備を行い、「生きる力を取り戻す」プロセスを大切にしながら、自立生活に向けた土台づくりから伴走しています。



利用者の声
（一部抜粋）



他人のことが信用できるようになりました。この人だったら話ができそうと思える人が増えました。（20代男性）



これからどうやっていこうかという時に、道を作ってもらえて良かったです。（40代男性）



選択肢を与えていただけてよかった。提案してもらって取り入れることができるようになった。（20代男性）



考え方が変わった。マイペースでいいと思えるようになった。前向きになれた。（30代女性）

社会変革のパートナーとなり得る 組織へのコンサルティング

NPO等の組織づくり、事業戦略、財務、人材育成の
トータルサポートをします。



SAVE JAPANプロジェクト

他団体との協働事業

中間支援組織 との協働

- 長野県の中間支援組織ネットワーク会議への参画
- 全国の中間支援との協働
 - ・NPO法人CRファクトリー企画「つよあたらアライアンス」参画
 - ・日本NPOセンターと損保ジャパンが協賛する「SAVE JAPANプロジェクト」にNPO法人生物多様性研究所あーすわーむとの協働で「親子で探検！牧場の生きものワールド」を **2** 回開催。親子 **75** 人参加
- 子ども支援関係の協働
 - ・長野市とNPOによる協働事業「ながの子ども子育てフェスティバル」に実行委員・事務局として参画
 - ・長野市みらいハッ！ケンプロジェクト地域コーディネーター請負い

講師派遣・審議会委員等

講師派遣

教育機関 **2** 件／災害関連 **8** 件／その他（行政・社会福祉協議会・協同組合・地縁組織など） **29** 件
 [審議会等委員] 長野市 **4** 件／佐久市 **1** 件／長野県 **3** 件／社会福祉協議会 **2** 件／その他 **2** 件

ソーシャルビジネスサポートながの

社会課題解決のために創業を考える方をサポートするネットワークを組み、
隔月定例会での情報交換や具体的な相談に対応

開催

ソーシャルビジネスセミナー

2024年 10月23日（水）13:30～15:30 **30** 人参加

市民活動の団体支援

- インキュベーターオフィスの運営
- [さまざまな市民活動に関する相談等]
 - 法人運営支援 **1** 件
 - 法人設立・運営相談 **7** 件

持続可能な地域づくりに向けた 住民自治の実践支援

住民自治協議会など地縁組織や行政と協働で、
未来志向の住民自治の取り組みを進めます。



いもいりビングらぼ（環境省：地域循環共生圏づくり支援体制構築事業）

茅井地区住民自治協議会に伴走する中間支援主体として「いもいりビングらぼが創出する持続可能な地域コミュニティ」をサポート。
らぼ会合 **4** 回を企画・運営、イベント運営、ニュースレター等作成 ほか

戸隠地域づくり協議会（農水省：農村RMO）

高齢化、過疎化、農業の衰退に悩む長野県内の中山間地のひとつ、長野市戸隠地区で取り組む戸隠地域づくり協議会の事業で、特に地域資源活用に係るコーディネートや生活支援の取り組みのサポート。

各会議への参加とアドバイス **18** 回／珈琲日和（住民の居場所） **6** 回／

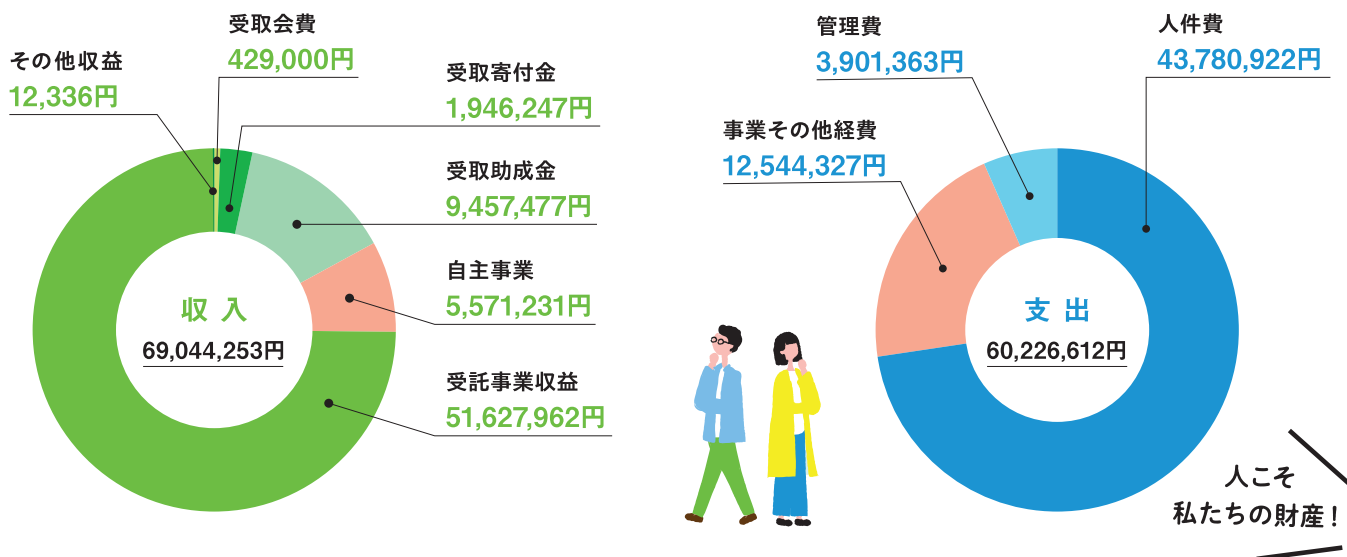
戸隠つながるサミット企画運営サポート／部活動の地域移行事業サポート／ニュースレター等作成 ほか

豊野まちづくり委員会

豊野防災交流センターを活用した地域づくりのための会議等に出席、企画や運営についてのアドバイス、サポート。2024年度は各委員発案の実験的な取り組み、コミュニティガーデンや獅子舞フェスティバル、豊野マルシェなどが実施されました。

三役会・委員会等への出席 **14** 回／8月3日豊野防災交流センターオープンイベント（獅子舞フェスティバル）への参加 ほか

2024年度財政状況



2024年度寄付金



多くのみなさまからのご寄付により充実した活動が継続できます。



ありがとうございます!



詳しい財政状況は
ホームページから
ご覧ください。

寄付・会員募集!!

法人の活動を支えてくださっているのは、
会員・寄付者のみなさまです。

人づくりのための研修機会の確保や、新たな事業を創り出すこと、法人の屋台骨となるバックオフィスの充実と強化に役立てていきます。継続的なご支援があると、さまざまなことにチャレンジできる法人文化を醸成できます。今後も、住み続けたいと思える長野をつくるため、ますますのご支援よろしくお願いいたします。

会員種別と年会費

- ・正会員 10,000円
(入会金 20,000円)
- ・賛助会員(個人) 3,000円
- ・賛助会員(団体) 6,000円/1口

★ 1カ月300円からの寄付が可能な“マンスリーサポーター制度”もあります。

右記二次元コードから。同サイトから会費・寄付金のお支払いも可能になりました(詳細は下記までお問い合わせください)。



Syncable



【役員】(2025年5月30日現在)

代表理事: 亀垣嘉明 / 常務理事: 山田千代子

理事: 阿部今日子・市原綾子・岩崎恵子・佐藤尚治・
清水嘉人・中谷隆秀・松村隆・古越武彦

監事: 小川和子



認定特定非営利活動法人

長野県NPOセンター

〒381-0034 長野市高田1029-1 エンドウビル1階

TEL:026-269-0015 FAX:026-269-0016

URL: <https://www.npo-nagano.org> Mail: info@npo-nagano.org

HP

